

IR資料

-2025年3月期 第3四半期-

2025年02月07日

ニプロ株式会社



目次

事業の概況	2
2024 年度 3Q 業績	3
販売費および一般管理費 主要科目	4
販売費および一般管理費 研究開発費	5
設備投資額・減価償却費	6
為替影響を除いた損益比較	7
為替感応度	8
事業セグメント別 売上高・営業利益	9
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	10
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	11
セグメント業績 - ②医薬関連事業	12
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	13
セグメント別・製品群別の売上高	14
セグメント別・地域別の売上高	15
製品分類表	16
製商品別売上高	17,18

事業の概況

製造・購買・物流

2024年度のダイアライザライン(秋田大館、中国合肥)の新設は下記。

秋田大館工場においては2024年10月に10ライン目が新規稼働しており、2025年4月には11ライン目およびFBダイアライザの7ライン目が稼働予定。

2024												2025						
1	2	3			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
		合肥工場 ダイアライザ 4ライン目 新規稼働		大館工場 ダイアライザ 9ライン目 新規稼働						大館工場 ダイアライザ 10ライン目 新規稼働							大館工場 FBダイアライザ 7ライン目 新規稼働	大館工場 ダイアライザ 11ライン目 新規稼働

販売

透析用医療機器 : ダイアライザは北米で大型案件の獲得、欧州ではエジプト政府入札の出荷開始や他社からの切替、アジアでのシングルユース拡大や政府向け販売の開始により販売が増加。透析センターは中南米、中国にて拡大。

バスキュラー関連製品 : 競合他社の上市により販売減少していた薬剤溶出バルーンが、適応拡大によるシェア回復で順調に推移し販売増加。

SD関連製品 : HeartMate3の適応拡大に伴う販売・保守契約増加により順調に推移。

自社医薬品 : 経口剤は選定療養で数量は増加したものの薬価下落と限定出荷の影響により販売減少。注射剤は新製品発売により、外用剤・貼付剤は出荷量増加により、それぞれ販売増加。

受託医薬品 : GE品の受注減や受託終了により販売が減少したが、先発品・長期収載品においては受注増加及び新規受託品の納入開始により販売が増加。海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。

ファーマパッケージング : 米国でバイアル・生地管、中国でバイアル・アンプルの販売数量が減少したものの、欧州で滅菌済シリンジ、インドで生地管・アンプル・バイアル、日本で輸液関連製品・生地管などの需要増加により、ファーマパッケージング全体としては販売が増加。

中国で透析用RO装置製造会社を買収（12月26日）

ニプロ株式会社の連結子会社である尼普洛貿易(上海)有限公司は、中国四川省の透析用RO装置製造会社である純潔科技有限公司を2024年10月6日付で買収した。これによりニプログループの医療機器事業が中国において透析関連製品の品揃えを拡充することができ、拡大基調にある中国市場におけるプレゼンスを高めることで更なるマーケットシェア獲得を目指す。

2024年度3Q 業績

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (5月時点)	2024年度 通期予想 (11月時点)	四半期別業績推移				
						2023年度		2024年度		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,391.3	4,792.8	+401.4 +9.1%	6,450.0	6,450.0	1,532.6	1,476.5	1,523.9	1,596.2	1,672.6
売上原価	3,070.6	3,335.5	+264.9 +8.6%	4,525.0	4,525.0	1,070.0	1,084.0	1,064.8	1,111.8	1,158.8
売上総利益 (※1)	1,320.7 30.1%	1,457.2 30.4%	+136.5 +10.3%	1,925.0 29.8%	1,925.0 29.8%	462.6 30.2%	392.4 26.6%	459.0 30.1%	484.3 30.3%	513.8 30.7%
販売管理費	1,097.0 25.0%	1,235.1 25.8%	+138.0 +12.6%	1,600.0 24.8%	1,600.0 24.8%	373.9 24.4%	392.7 26.6%	401.1 26.3%	407.6 25.5%	426.3 25.5%
営業利益	223.6 5.1%	222.0 4.6%	△1.5 △0.7%	325.0 5.0%	325.0 5.0%	88.7 5.8%	△0.2 △0.0%	57.8 3.8%	76.7 4.8%	87.4 5.2%
経常利益 (※2)	200.1 4.6%	140.0 2.9%	△60.0 △30.0%	276.0 4.3%	223.0 3.5%	52.7 3.4%	△5.0 △0.3%	64.2 4.2%	△19.2 △1.2%	95.1 5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	126.2 2.9%	65.9 1.4%	△60.3 △47.8%	158.0 2.4%	158.0 2.4%	26.9 1.8%	△15.2 △1.0%	26.2 1.7%	△24.9 △1.6%	64.6 3.9%

- 売上高 医療関連事業は、海外では円安影響に加え、B2B事業と北米、欧州、アジアにてダイアライザの販売が好調。医薬関連事業は、GE品は経口剤・注射剤の受注減により販売が減少したものの、先発・長期収載品においては全剤型で受注増により好調。ファーマパッケージングは、日本及び欧州で販売が好調。これら要因により、売上高は前年対比9.1%増加。
- 売上総利益 継続的な製造設備の投資による償却費の増加、未実現利益の控除額増加したものの、原材料費、電力料の上昇が抑制されたことにより、売上総利益は前年対比で10.3%増加。
- 営業利益 海外子会社における人件費、支払手数料と北中南米での透析センター買収に伴う償却費の増加により、営業利益は前年対比で微減。
- 経常利益 持分法による投資損失と支払利息の増加に加え、前年は為替差益が13.1億円計上されていたものの、今年是为替差損を14.0億円計上したため、差し引き27.1億円利益が悪化したことにより、経常利益は前年対比で60.0億円減少。
- 当期純利益 前年に計上されていた政策保有株式の売却益と固定資産売却益が、今年には計上がないことから、当期純利益は前年対比60.3億円減少。

(※1) 売上総利益への未実現利益の影響額
2023年度3Q △6.0億円
2024年度3Q △19.3億円

(※2) 為替損益
2023年度3Q +13.1億円
2024年度3Q △14.0億円



販売費および一般管理費 主要科目

単位:億円	2023年度 3Q	2024年度 3Q		増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
		実績	構成比		
人件費	362.2	418.9	33.9%	+56.7 +15.7%	514.4 81.4%
研究開発費(※1)	133.3	137.6	11.1%	+4.3 +3.3%	190.0 72.5%
運送費	105.3	118.8	9.6%	+13.4 +12.8%	176.4 67.4%
償却費(※2)	97.9	116.4	9.4%	+18.5 +18.9%	132.7 87.7%
支払手数料(※3)	49.2	78.5	6.4%	+29.3 +59.6%	99.8 78.7%
販促費(※4)	74.0	62.6	5.1%	△11.4 △15.4%	96.5 64.9%
旅費交通費	32.2	35.7	2.9%	+3.5 +10.9%	52.2 68.4%
保管料	27.9	30.0	2.4%	+2.1 +7.5%	31.9 94.1%
上記以外の科目	214.7	236.1	19.1%	+21.3 +10.0%	305.7 77.2%
合計	1,097.0	1,235.1	100.0%	+138.0 +12.6%	1,600.0 77.2%

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費
 (※2) 減価償却費・のれん償却費
 (※3) 支払手数料・顧問料
 (※4) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

●人件費

国内はベースアップと従業員数増加、海外は為替影響や従業員数増加により、前年対比で56.7億円増加。

●運送費

北中南米・欧州における海外運賃の増加により、前年対比で13.4億円増加。

●償却費

北中南米において透析クリニック買収によるのれんと透析装置等の設置が増加したことにより、前年対比で18.5億円増加。

●支払手数料

国際事業部において透析管理システムのライセンス契約料、物流改善にかかる費用が増加したこと、欧州での透析装置の認証取得にかかる費用により、前年対比で29.3億円増加。

販売費および一般管理費 研究開発費

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位:億円				
医療 (※1)	76.4	90.0	+13.5 +17.8%	101.6 88.6%
医薬	67.7	57.4	△10.2 △15.2%	85.0 67.6%
ファーマ パッケージング	2.2	2.6	+0.3 +13.4%	3.4 76.6%
合計 (※2)	146.4	150.0	+3.5 +2.5%	190.0 79.0%

(※1) 外部委託による研究開発費を今年度より計上したため、前年度の数値も修正しています。

(※2) 製造原価における研究開発費も含んでいます。

- **医療** バスキュラーの新製品開発等により、前年対比で13.5億円増加。
- **医薬** 償却費、労務費等の減少により、前年対比で10.2億円減少。
- **PP** 新たな製品の開発等により、前年対比で0.3億円の微増。

設備投資額・減価償却費

	設備投資額						減価償却費			
	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 5月時点 (進捗率)	2024年度 通期予想 11月時点 (進捗率)	2024年度 通期予想 2月時点 (進捗率)	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円										
医療関連	332.4	257.3	△75.1 △22.6%	384.0 67.0%	384.0 67.0%	384.0 67.0%	206.3	249.7	+43.4 +21.0%	318.1 78.5%
医薬関連	166.1	150.7	△15.4 △9.3%	103.0 146.4%	143.0 105.4%	※ 165.5 91.1%	110.0	113.8	+3.8 +3.5%	156.1 73.0%
ファーマパッケージング	102.2	61.8	△40.3 △39.5%	125.0 49.5%	125.0 49.5%	125.0 49.5%	47.0	56.4	+9.4 +20.1%	67.7 83.4%
その他	59.8	17.3	△42.4 △71.0%	12.0 144.4%	12.0 144.4%	12.0 144.4%	40.5	37.7	△2.8 △7.0%	56.2 67.2%
合計	660.6	487.2	△173.4 △26.2%	624.0 78.1%	664.0 73.4%	686.5 71.0%	403.9	457.8	+53.8 +13.3%	598.1 76.6%

(※) 今年度4Qに22.5億円の補助金が入金される予定であったが、来年度以降の入金と確定したため、通期予想を143.0億円から165.5億円へ変更。

●設備投資額

医療関連は中国合肥工場でダイアライザラインに37.8億円、また大館工場でもダイアライザラインに102.7億円、ニプロタイランドコーポレーションではGLP-1需要増に伴うインスリン針の設備に13.2億円の投資を行ったことにより、全体としては257.3億円となったが、昨年度に158億円を投じた大館工場の建屋建設が完了し、前年対比では75.1億円減少。

医薬関連はニプロファーマ近江工場で抗菌薬棟とバイアル棟で89.6億円の投資実施により、全体としては150.7億円となったが、全星薬品工業にて昨年度に14.1億円を投じた和泉工場の工事が完了し、前年対比では15.4億円減少。

ファーマパッケージングはアメリカで工場拡張・ライン増設に約10億円、またドイツではシリンジ等のライン増設で約17億円を投じ、全体としては61.8億円となったが、20億円を投じたドイツでの新規ライン増設が完了し、またフランスでも28億円を投じた全酸素燃焼釜の導入が完了したため、前年対比で40.3億円減少。

その他は埼玉の医薬品研究所の建屋建築工事が前年に完了したことにより、前年対比で42.4億円減少。

●減価償却費

各セグメント共に大きな工期遅延は無く設備が稼働開始しており、減価償却費は予定通り推移。

為替影響を除いた損益比較

	2023年度3Q	2024年度3Q	為替の影響 (※)	影響を除いた 2024年度	増減率
単位：億円	[a]	[b]	[c]	[d=b-c]	[d÷a]
売上高	4,391.3	4,792.8	+169.5	4,623.2	+5.3%
売上原価	3,070.6	3,335.5	+90.4	3,245.1	
売上総利益	1,320.7	1,457.2	+79.1	1,378.0	+4.3%
(%)	30.1%	30.4%		29.8%	
販管費	1,097.0	1,235.1	+47.7	1,187.4	
営業利益	223.6	222.0	+31.4	190.6	△14.8%
(%)	5.1%	4.6%		4.1%	
営業外収益	51.7	37.5	+27.2	10.3	
営業外費用	75.2	119.5		119.5	
経常利益	200.1	140.0	+58.6	81.4	△59.3%
特別利益	51.6	18.4		18.4	
特別損失	30.9	14.5		14.5	
税引前利益	220.8	143.9	+58.6	85.3	△61.4%
法人税等	85.8	64.3	+26.2	38.1	
非支配株主に 帰属する純利益	8.7	13.6		13.6	
当期利益	126.2	65.9	+32.4	33.5	△73.5%

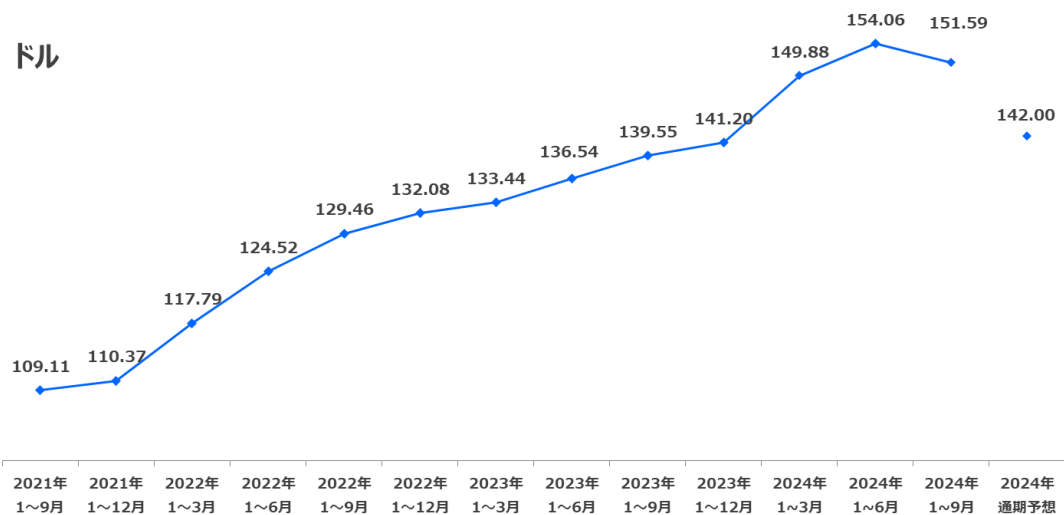
期中平均レート	2023年	2024年	期末レート	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年	2024年	2024年
	1~9月	1~9月		12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
1 USD	139.55	151.59	1 USD	132.70	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18
1 EUR	151.20	164.61	1 EUR	141.47	145.72	157.60	158.00	157.12	163.24	172.33	159.43	164.92
1 中国元	19.72	21.05	1 中国元	19.01	19.42	19.94	20.46	19.93	20.83	22.04	20.46	21.67

為替感応度

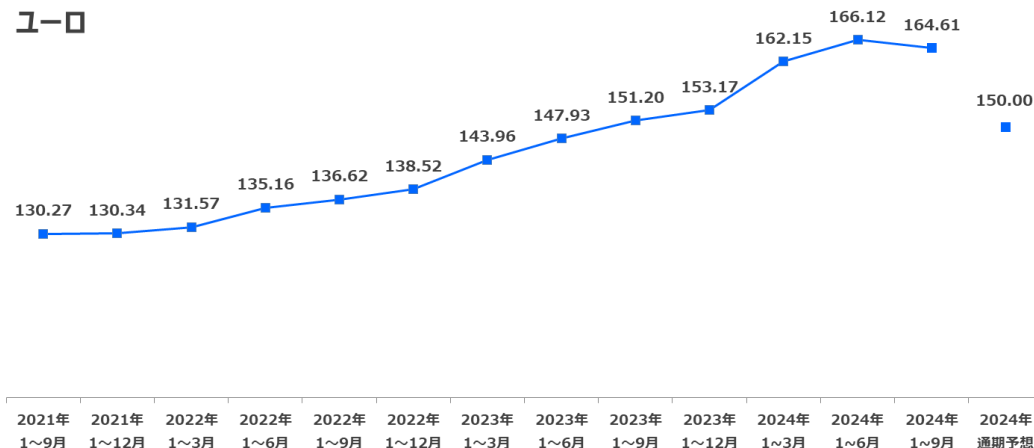
【1円変動による年間影響額】

(億円)	ドル	ユーロ	元
売上高	9.6	5.7	17.0
営業利益	0.9	2.2	8.4

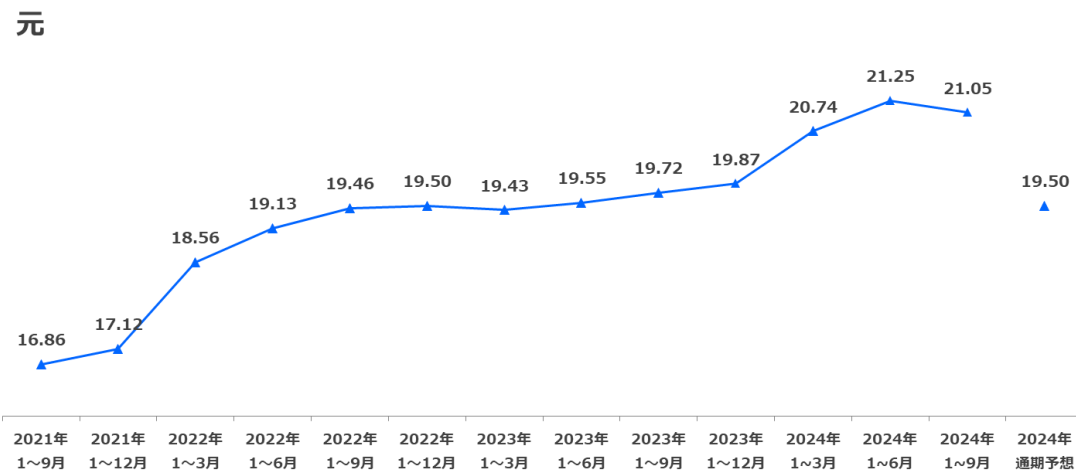
【期中平均レート】



ユーロ



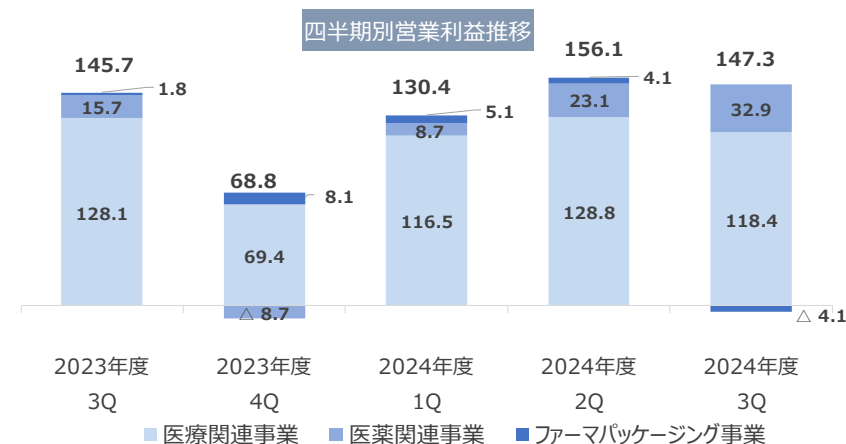
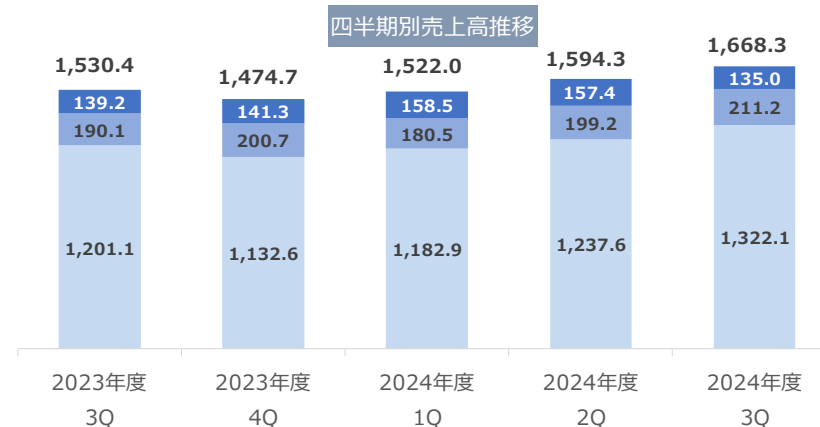
元



事業セグメント別 売上高・営業利益

売上高	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
医療関連事業	3,403.4	3,742.6	+339.1 +10.0%	5,013.0 74.7%
医薬関連事業	542.4	591.0	+48.5 +9.0%	812.5 72.7%
ファーマパッケージング事業	439.0	451.0	+11.9 +2.7%	618.2 73.0%

営業利益	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 5月時点 (利益率)	2024年度 通期予想 2月時点 (利益率)
単位：億円					
医療関連事業	353.7 10.4%	363.8 9.7%	+10.1 +2.9%	471.0 9.4%	494.1 9.9%
医薬関連事業	53.0 9.8%	64.9 11.0%	+11.8 +22.3%	90.3 11.1%	90.3 11.1%
ファーマパッケージング事業	16.3 3.7%	5.2 1.2%	△11.1 △68.2%	26.0 4.2%	2.9 0.5%



●医療関連事業

減価償却費・人件費・支払手数料が増加したものの、海外での医療機器販売が好調であったことから、事業全体では営業利益は前年対比で10.1億円増加。

●医薬関連事業

GE品は受注減で売上が減少しているものの、先発・長期収載品の注射剤・外用剤にて新規受託品の販売好調により、売上高増加。近江工場立ち上げに係る人件費、減価償却費、水道光熱費等は増加しているものの、原材料費の低減により営業利益は前年対比で11.8億円増加。

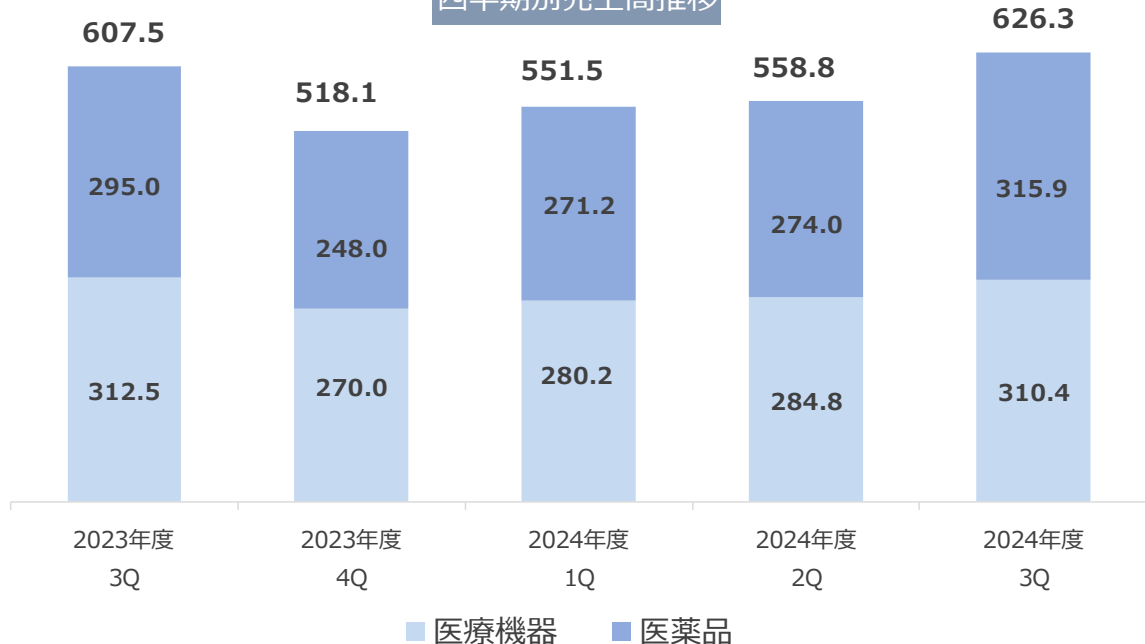
●ファーマパッケージング事業

売上は増加するも、労務費、償却費の増加により、営業利益は前年対比で11.1億円減少。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

売上高	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
国内事業	1,745.5	1,736.6	△ 8.8 △0.5%	2,367.0 73.4%
医療機器	885.9	875.4	△ 10.4 △1.2%	1,194.0 73.3%
医薬品	859.5	861.1	+1.5 +0.2%	1,173.0 73.4%

四半期別売上高推移



●医療機器

注射針類は、他社の出荷制限やインフルエンザ感染急拡大等により出荷量が増加し、前年対比で14.9億円増加。輸液関連製品は2Qに引き続き、高騰したエネルギー費の価格転嫁とコロナ禍で需要が落ちていた製品の需要が回復してきたことにより前年対比で7.1億円増加。

SD関連製品はHeartMate3の一時的な需要減があったことにより、3Q単体では前年対比で0.4億円微減。しかしながら、累計としてはDT症例の適応拡大に伴い、HeartMate3が順調に推移しており前年対比で6.0億円増加。

バスキュラー関連製品は薬剤溶出バルーンの国内売上が、前年度1Qと2Qにおいて競合他社の上市により減少していたが、今年度は適応拡大によりシェアが回復し、前年対比で7.7億円売上増加。

一方で、中国では売上を医療(国内)管轄の子会社から医療(国際)管轄の子会社へ移管したことにより、前年対比で42.1億円減少。全体としては前年対比で34.7億円の減少。

●医薬品

経口剤は、選定療養開始に伴い後発品への切替が促進されたことにより数量は増加したものの、ネキシウムAGを含む薬価下落が引き続き影響し、前年対比で19.5億円減少。

注射剤・輸液は、がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症を抑制するペグフィルグラスチムBSの出荷量が増加したことにより前年対比で11.7億円増加。

外用剤・貼付剤においても出荷量が増加したことにより、前年対比で7.4億円増加。

セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）

売上高	2023年度	2024年度	増減額	2024年度
単位：億円	3Q	3Q	(増減率)	通期予想 (進捗率)
国際事業	1,622.0	1,970.1	+348.0 +21.5%	2,594.0 75.9%
B2B(他社ブランド)	200.3	240.1	+39.7 +19.8%	312.5 76.8%
ニプロブランド	1,421.6	1,729.9	+308.3 +21.7%	2,281.5 75.8%
アメリカ	604.5	758.4	+153.8 +25.5%	997.0 76.1%
ヨーロッパ	340.6	388.7	+48.0 +14.1%	469.4 82.8%
アジア	270.1	336.0	+65.9 +24.4%	447.0 75.2%
中国	206.3	246.7	+40.4 +19.6%	368.0 67.0%

● B2B

欧州におけるGLP-1需要増に伴うインスリン針の販売好調により、前年対比で39.7億円増加。

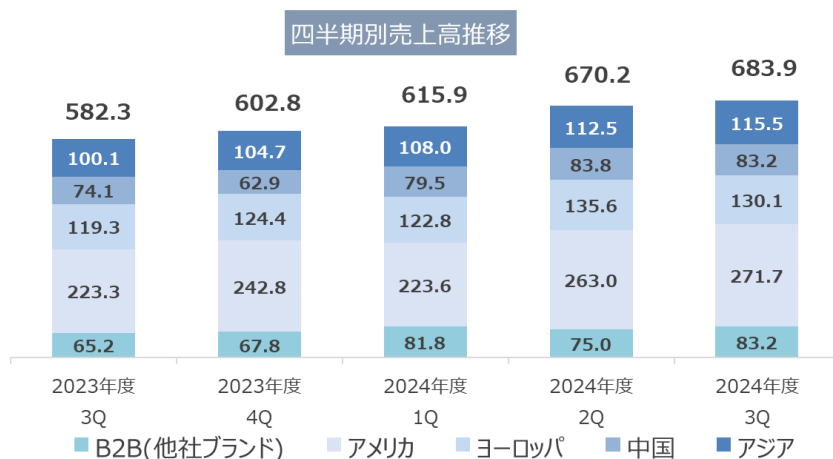
● ニプロブランド

北米においては、ダイアライザや透析装置の大型契約や代理店の在庫調整のため一時的に減少していたAVFと血液回路の需要回復により増加。中南米においては、チリ・グアテマラでの透析センター拡大や透析機器と注射針・輸液におけるホンデユラス・メキシコでの政府入札獲得により増加。また、円安影響も受け前年対比で153.8億円増加。

欧州ではダイアライザのエジプト政府入札の出荷開始や、他社からの切替に加え、円安影響により前年対比で48.0億円増加。

アジアではダイアライザがインドネシアにおけるシングルユース化により販売増加。また、サウジアラビア及びUAE、インド政府向け販売の透析機器やタイにおける注射針、輸液セットの販売増加、円安影響により前年対比で65.9億円増加。

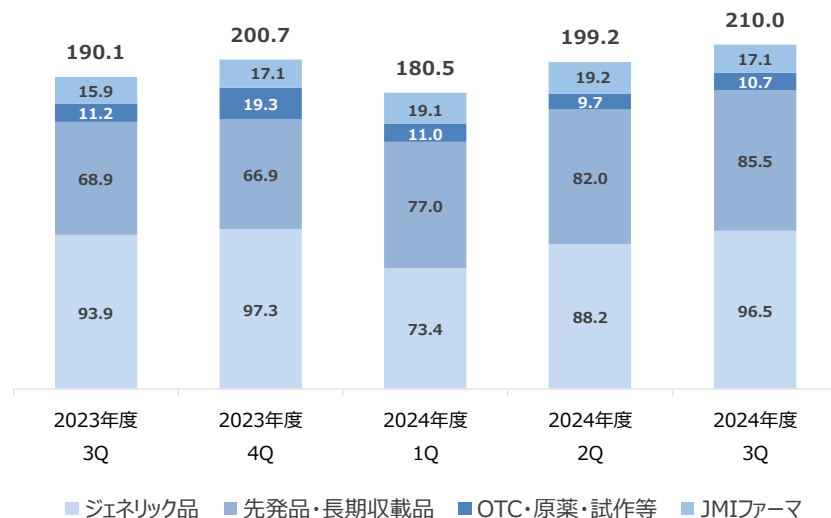
中国では、集中購買開始に伴う買い控え、単価下落の影響によりダイアライザの販売が減少したものの、透析センターが拡大したことに加え、バスキュラー関連製品の売上を医療(国内)管轄の子会社から医療(国際)管轄の子会社へ移管したことにより、前年対比で40.4億円増加。



セグメント業績 - ② 医薬関連事業

売上高	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
医薬関連事業	542.4	589.9	+47.4 +8.7%	812.5 72.6%
ジェネリック品	284.0	258.2	△25.7 △9.1%	347.0 74.4%
先発品・長期収載品	184.2	244.6	+60.3 +32.7%	334.9 73.0%
OTC・原薬・試作等	28.1	31.5	+3.3 +11.8%	63.5 49.6%
JMIファーマ	45.9	55.4	+9.5 +20.8%	67.0 82.8%

四半期別売上高推移



● ジェネリック品

経口剤は受注減により前年対比4.4億円減少。

注射剤は受託終了品目や主力抗がん剤の顧客在庫過多に伴う受注減により、前年対比19.0億円減少。

外用剤は受託終了品目により前年対比2.4億円減少。

● 先発品・長期収載品

経口剤は受注増により前年対比12.4億円増加。

注射剤は新規受託品の納入開始をはじめ、既存品目についても受注増、前年対比で36.8億円増加。

外用剤は新規受託品の納入開始により、前年対比で11.2億円増加。

● OTC・原薬・試作等

OTC外用剤の受注増や値上げにより、前年対比で3.3億円増加。

● JMIファーマ

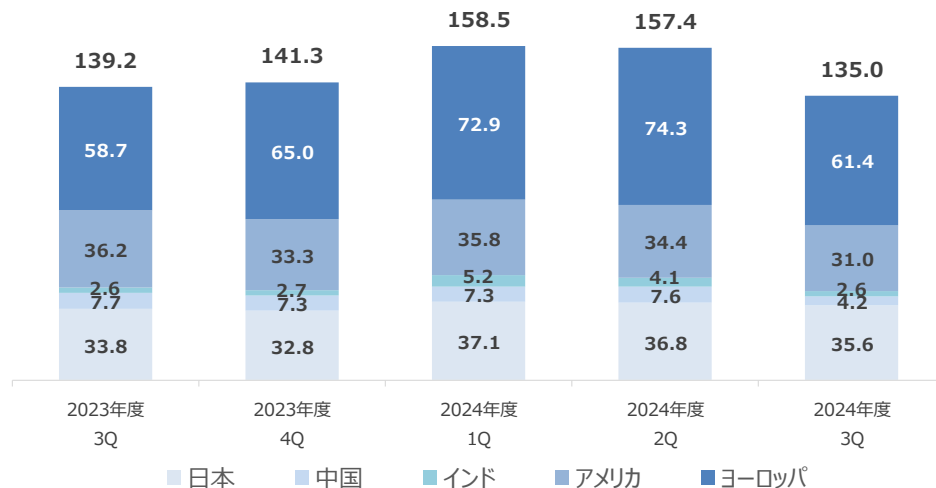
JMIファーマでは医師へのプロモーション強化、慢性疾患製剤への注力に加え、新製品を新規に22品目上市し、採用先も増加したため、現地通貨ベースでは前年対比で18.9%増加した。

日本円ベースでは為替変動の影響により、前年対比で20.8%増加となった。

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

売上高	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額 (増減率)	2024年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
ファーマパッケージング事業	439.0	451.0	+11.9 +2.7%	618.2 73.0%
日本	98.4	109.6	+11.2 +11.4%	140.4 78.1%
海外	340.5	341.3	+0.7 +0.2%	477.7 71.4%
ヨーロッパ	186.6	208.8	+22.1 +11.8%	289.9 72.0%
アメリカ	108.0	101.2	△ 6.7 △ 6.2%	147.5 68.6%
中国	35.6	19.3	△ 16.3 △ 45.9%	19.4 99.5%
インド	10.1	11.9	+1.7 +17.1%	20.8 57.4%

四半期別売上高推移



●日本

四半期推移では上期が好調であり、下期はその反動により減少傾向であるものの、1Qに輸液関連とキット用プラスチックにおいて新規顧客からの受注が増加。また、バイアル硝子も顧客からの受注が継続して増加した。生地管は2024年10月実施の価格改定により売上が減少したものの、2Qまでの駆け込み需要により、日本全体として前年対比で11.2億円増加。

●海外

欧州では、滅菌済シリンジといった高収益品の販売が増えたことにより、前年対比で22.1億円増加。

米国では生地管・バイアル硝子において、世界的なガラス容器の在庫調整により、前年対比で6.7億円減少。

中国では2023年1Qに子会社の持ち分譲渡に伴う連携除外の影響に加え、2023年度2Q以降アンプル硝子・バイアル硝子において低利益率製品の販売から高利益率の製品への販売に切り替えたこと、また3Qにて受注減少したことにより、前年対比で16.3億円減少。

インドでは売上が四半期推移では減少傾向であるものの、1Qにて理化学用生地管の需要増加、アンプル硝子はアルジェリア向けの輸出増加、バイアル硝子は少量製品の積み上げ出荷により売上が増加し、前年対比で1.7億円増加。

セグメント別・製品群別の売上高

製品	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
医療機器	2024年度3Q	2,766.5	0.0	32.9	0.0	2,799.4
	2023年度3Q	2,449.1	0.0	31.6	0.0	2,480.7
医薬品	2024年度3Q	974.3	591.0	5.0	0.0	1,570.4
	2023年度3Q	953.5	542.4	5.3	0.0	1,501.3
ファーマパッケージング	2024年度3Q	1.7	0.0	411.9	0.0	413.6
	2023年度3Q	0.7	0.0	401.0	0.0	401.7
その他	2024年度3Q	0.0	0.0	1.1	8.1	9.2
	2023年度3Q	0.0	0.0	0.9	6.4	7.4
合計	2024年度3Q	3,742.6	591.0	451.0	8.1	4,792.8
	2023年度3Q	3,403.4	542.4	439.0	6.4	4,391.3

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

セグメント別・地域別の売上高

地域	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
日本	2024年度3Q	1,740.2	530.0	109.9	8.1	2,388.4
	2023年度3Q	1,707.3	491.7	98.7	6.3	2,304.1
海外計	2024年度3Q	2,002.3	60.9	341.0	0.0	2,404.3
	2023年度3Q	1,696.1	50.7	340.2	0.0	2,087.2
アメリカ	2024年度3Q	826.6	0.0	98.5	0.0	925.3
	2023年度3Q	678.9	0.0	102.4	0.0	781.5
ヨーロッパ	2024年度3Q	478.2	2.4	205.5	0.0	686.3
	2023年度3Q	387.5	2.3	188.9	0.0	578.7
中国	2024年度3Q	252.1	0.2	20.7	0.0	273.1
	2023年度3Q	256.2	0.2	35.7	0.0	292.1
その他アジア	2024年度3Q	445.2	58.2	16.1	0.0	519.5
	2023年度3Q	373.4	48.1	13.1	0.0	434.7
合計	2024年度3Q	3,742.6	591.0	451.0	8.1	4,792.8
	2023年度3Q	3,403.4	542.4	439.0	6.4	4,391.3

●地域別

地域別売上高比率は国内49.8%、海外50.1%であり、中国を除きいずれの地域でも販売は堅調。

●セグメント別

国内医療機器は注射針類で出荷量が増加し、輸液関連製品は価格転嫁とコロナ禍で減少した需要の回復により販売が増加。また、医薬品はネキシウムAGを含む経口剤が販売減少するも注射剤・外用剤・貼付剤は出荷量が増え販売増加。

国際医療機器は円安の影響を受けたほか、欧米、アジアのダイアライザ、欧州のB2BにおいてGLP-1需要増に伴うインスリン針の販売が好調。中南米、中国において透析センターが拡大。

医薬関連事業は、海外はJMIファーマの販売が堅調に推移。日本ではGE品にて受注減により販売が減少したものの、先発品・長期収載品において新規受託品の納入開始と既存品の受注増により、全体では販売増加。

ファーマパッケージング事業は日本にて輸液関連製品、キット用プラスチック、生地管、バイアル硝子の需要増加により販売増加。米州では生地管・バイアル硝子の需要減少により販売減少。欧州で滅菌済シリンジ、インドで生地管、アンプル硝子、バイアル硝子の販売が堅調。中国では前年に子会社の持分譲渡に伴う連結除外により、販売が減少。

製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺、整形外科製品
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

製商品別売上高（1）

単位：億円		全社				海外				日本			
		2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率
【医療機器】	ダイアライザ	700.2	799.1	+98.8	+14.1%	523.4	623.9	+100.5	+19.2%	176.8	175.1	△1.7	△1.0%
	透析機器	167.4	224.0	+56.5	+33.8%	115.3	171.6	+56.2	+48.8%	52.0	52.3	+0.3	+0.6%
	その他透析関連	402.5	458.3	+55.7	+13.9%	337.3	392.0	+54.6	+16.2%	65.2	66.3	+1.1	+1.7%
	透析関連製品計	1,270.2	1,481.5	+211.2	+16.6%	976.1	1,187.6	+211.5	+21.7%	294.1	293.8	△0.2	△0.1%
	注射針類	362.1	402.9	+40.8	+11.3%	234.8	261.6	+26.8	+11.4%	127.3	141.3	+14.0	+11.0%
	バスキュラー関連製品	236.1	249.4	+13.2	+5.6%	56.5	62.2	+5.7	+10.2%	179.6	187.1	+7.5	+4.2%
	輸液関連製品	161.8	180.5	+18.7	+11.6%	64.9	74.9	+10.0	+15.4%	96.9	105.6	+8.7	+9.0%
	検査製品	93.4	98.3	+4.9	+5.3%	65.3	67.5	+2.2	+3.4%	28.0	30.7	+2.7	+9.8%
	糖尿病関連製品	80.6	101.9	+21.2	+26.4%	70.5	92.7	+22.2	+31.5%	10.0	9.1	△0.9	△9.5%
	SD関連製品	64.4	73.6	+9.1	+14.2%	15.0	18.2	+3.2	+21.3%	49.4	55.3	+5.9	+12.0%
	その他	206.0	207.2	+1.2	+0.6%	117.9	122.2	+4.2	+3.6%	88.1	85.0	△3.0	△3.5%
	部門計	2,474.9	2,795.6	+320.6	+13.0%	1,601.2	1,887.3	+286.0	+17.9%	873.7	908.3	+34.5	+4.0%
【医薬品(自社)】	経口剤	388.2	368.3	△19.8	△5.1%	0.5	0.1	△0.3	△68.5%	387.7	368.1	△19.5	△5.0%
	注射剤・輸液	427.5	458.3	+30.7	+7.2%	91.5	110.4	+18.9	+20.8%	336.0	347.8	+11.7	+3.5%
	外用剤・貼付剤	52.6	60.1	+7.4	+14.1%	-	-	-	-	52.6	60.1	+7.4	+14.1%
	その他・体外診断薬 等	85.0	87.5	+2.5	+3.0%	2.1	2.6	+0.5	+24.1%	82.9	84.9	+2.0	+2.5%
	部門計	953.5	974.3	+20.8	+2.2%	94.1	113.2	+19.1	+20.3%	859.4	861.1	+1.7	+0.2%
【再生医療】	再生医療等製品	5.7	3.7	△1.9	△34.4%	-	-	-	-	5.7	3.7	△1.9	△34.4%

製商品別売上高（2）

		全社				海外				日本			
		2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率	2023年度 3Q	2024年度 3Q	増減額	増減率
	単位：億円												
[医薬品(受託)]	経口剤	212.9	218.8	+5.9	+2.8%	0.3	0.4	+0.0	+25.6%	212.6	218.4	+5.8	+2.7%
	注射剤・輸液	242.2	259.6	+17.4	+7.2%	3.1	4.1	+0.9	+30.7%	239.0	255.4	+16.4	+6.9%
	外用剤・貼付剤	28.8	42.7	+13.8	+48.2%	0.2	0.4	+0.1	+60.9%	28.5	42.2	+13.7	+48.0%
	その他・体外診断薬 等	17.8	19.3	+1.4	+8.3%	1.0	0.4	△0.5	△57.7%	16.8	18.9	+2.0	+12.2%
	部 門 計	501.8	540.5	+38.6	+7.7%	4.7	5.4	+0.6	+13.5%	497.0	535.1	+38.0	+7.7%
[医薬品(JMIP)]	経口剤	45.4	54.9	+9.4	+20.7%	45.4	54.9	+9.4	+20.7%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.4	0.5	+0.1	+21.4%	0.4	0.5	+0.1	+21.4%	-	-	-	-
	部 門 計	45.9	55.4	+9.5	+20.8%	45.9	55.4	+9.5	+20.8%	-	-	-	-
[ファーマパッケージング]	生地管関連	98.3	100.3	+1.9	+2.0%	81.3	81.2	△0.1	△0.2%	17.0	19.1	+2.1	+12.5%
	アンプル硝子	60.8	61.7	+0.9	+1.5%	60.7	61.6	+0.8	+1.4%	0.1	0.1	+0.0	+31.4%
	バイアル硝子	137.1	123.1	△14.0	△10.2%	123.6	106.5	△17.0	△13.8%	13.5	16.5	+3.0	+22.4%
	シリンジ硝子	52.8	77.0	+24.1	+45.7%	52.8	76.9	+24.0	+45.5%	0.0	0.1	+0.1	+332.7%
	ゴム栓・栓体類	14.5	10.5	△4.0	△27.7%	4.9	0.0	△4.8	△99.7%	9.6	10.5	+0.8	+9.1%
	プラスチック容器	14.2	15.3	+1.1	+7.8%	0.0	0.0	+0.0	△28.8%	14.2	15.3	+1.1	+7.8%
	魔法瓶	4.2	4.3	+0.1	+2.4%	-	-	-	-	4.2	4.3	+0.1	+2.4%
	その他	19.5	21.1	+1.6	+8.4%	17.2	16.1	△1.0	△6.1%	2.2	4.9	+2.6	+118.6%
	部 門 計	401.7	413.6	+11.8	+3.0%	340.7	342.5	+1.8	+0.5%	61.0	71.1	+10.0	+16.5%
[その他]	生産機械販売・不動産賃貸	7.4	9.2	+1.8	+24.5%	0.3	0.2	+0.0	△19.2%	7.0	8.9	+1.8	+26.6%
	連 結 合 計	4,391.3	4,792.8	+401.4	+9.1%	2,087.2	2,404.3	+317.1	+15.2%	2,304.1	2,388.4	+84.3	+3.7%

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。
実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。